MKエコプラント株式会社

MK ECO

会社概要

代表者	代表取締役会長 向井 敏雄 代表取締役社長 丸山 長裕
本社	宮城県仙台市青葉区一番町2-5-17
おおさと リサイクルセンター	宮城県黒川郡大郷町川内字中埣山1-33
設立	2003年9月18日
資本金	10,000,000円
事業内容	産業廃棄物および一般廃棄物処分業 産業廃棄物および一般廃棄物収集運搬 解体工事(主に木造建物)、他

MKエコプラントは「**資源循環型社会に貢献する**」を経営理念の一つに掲げて2003年9月に会社を設立、2005年9月に「産業廃棄物再資源化工場」おおさとリサイクルセンターを建設し、20年近くにおよんで産業廃棄物中間処理施設として資源循環型社会の形成に貢献しています。

私たちは、地球を汚さない壊さない!!

産業廃棄物中間処理業が本業であるMKエコプラントの経営理念は、SDGsの環境問題に関する開発目標やターゲットの多くと一致しています。私たちは、これらの経営理念や経営方針を**SDGsの取り組み**を通して強力に実践し、**技術・技能・知識を持続的に発展させる**ことで、今後益々深刻化する**環境問題の解決**に大きく**貢献できる仕組み**作りを図りながら、社会から尚一層必要とされる価値の高い企業を目指しています。

廃棄物(最終処分量)の発生を減らす取り組み

活動内容　1. 硬質廃プラスチックのリサイクル

従来、当社では廃プラスチック類の中の硬質廃プラスチック類は破砕して減量化した後に安定型最終処分(埋立)としていました。これらがリサイクル可能だとすると、燃料(サーマル)として再利用が一番容易ですが、硬質廃プラスチック類に含まれる塩素が焼却炉の炉を傷め、腐食の原因となることと、ダイオキシンを多く発生させる原因となるため、低塩素濃度のプラスチック製品を識別できる知識と識別眼を会得しなくてはなりません。そこで社内教育を実施して従来最終処分(埋立)としていたものをサーマルリサイクルとする活動を行っています。

活動結果

活動報告期間：2021年7月15日～2024年9月14日
実稼働日：829日

硬質廃プラスチック類・期間内受入量 …… 16,058㎥
硬質廃プラスチック類・リサイクル数量 …… 2,242㎥

14%削減

最終処分量(埋立)

30㎥BOXダンプトラック

× 約75台

廃プラリサイクル量

おおさとリサイクルセンター　エリア管理
鈴木　晃(勤続19年) 専門学校デジタルアーツ仙台 卒

産業廃棄物中間処理業に携わってからは、環境問題に少しずつ関心が高まっていきました。そんな中で、少しでも「**地球に埋める廃棄物**」を少なくしようという今回の取り組みには大いに賛同するとともにやりがいを感じています。プラスチックの廃棄物は多種多様にわたり、未だに低塩素濃度のプラスチックを完全に把握できているわけではありませんが、日々見識を高めてリサイクル率の向上に寄与できるよう、これからも研鑽を積んでまいります。